エマージング好配当株式オープン

<3251>

追加型投信／海外／株式

繰上償還　2021年４月26日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エマージング諸国の企業の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	11,816円35銭
	純資産総額	30百万円
償還期	騰落率	24.6%

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106338

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

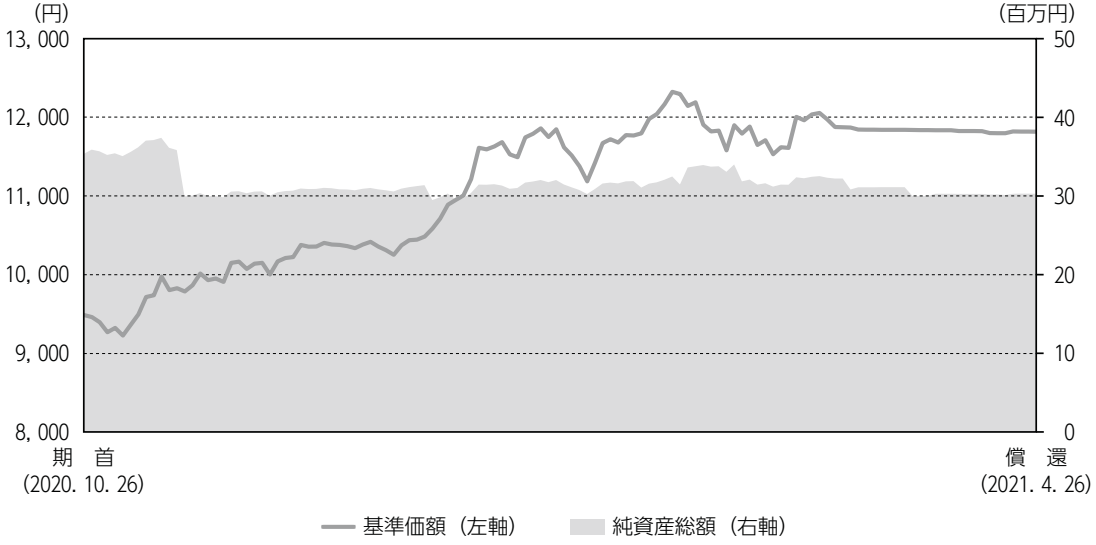
UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇TKU0325120210426◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ページ下方の「償還済みファンド（運用報告書）」を選択　→　リストから当ファンドの「一覧」をクリック　→　目的の運用報告書（全体版）を選択

運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期　首：　9, 484円

償還時：11, 816円35銭

騰落率：24. 6%

■基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。世界経済の回復への期待や新型コロナウイルスのワクチン普及などを背景に、新興国株式市況が上昇したことが、プラス要因となりました。また新興国為替相場については、市場のリスク選好姿勢により、米ドルなど当ファンドが保有する通貨が円に対して上昇（円安）したことが、プラス要因となりました。

1万口当りの費用の明細

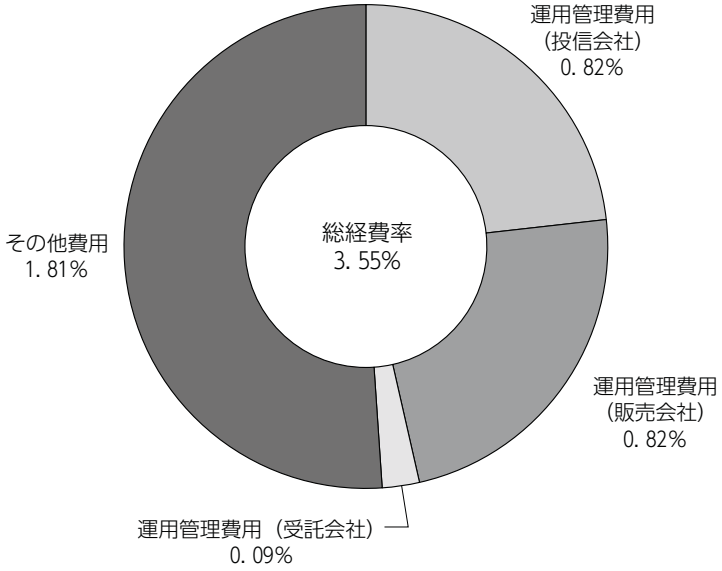
項目	当期 (2020.10.27～2021.4.26)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	96円	0.867%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11,127円です。**
（投信会社）	(46)	(0.411)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(46)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	53	0.473	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(53)	(0.473)	
有価証券取引税	18	0.162	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(18)	(0.162)	
その他費用	101	0.904	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(40)	(0.362)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(60)	(0.542)	税務調査費用相当額の留保、信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	268	2.405	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

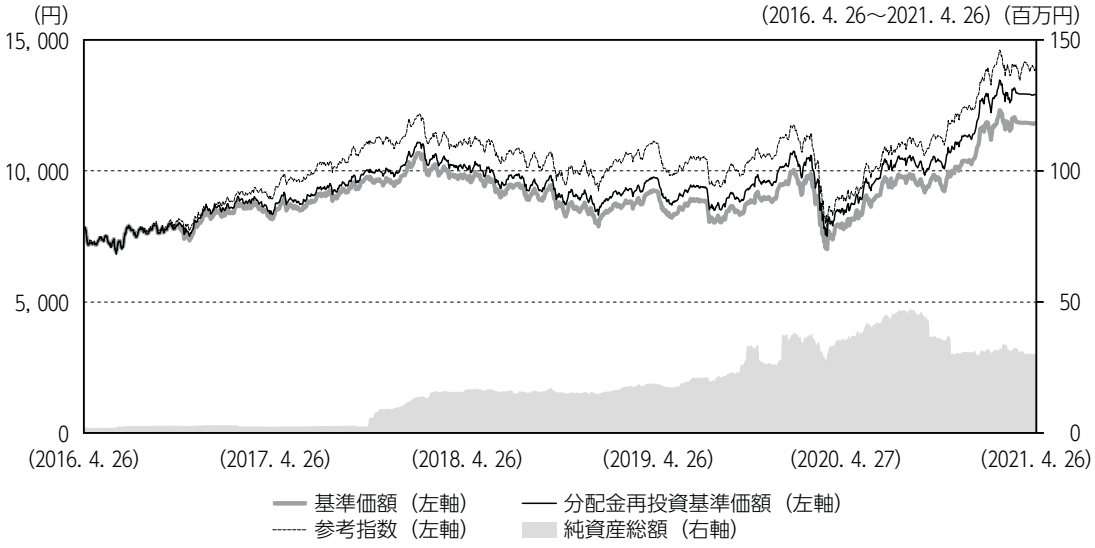
■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.55％です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



（注）参考指数は、2016年 4 月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊参考指数はＭＳＣＩ ＥＭ指数（配当込み、円換算）です。

	2016年 4 月26日 期初	2017年 4 月26日 決算日	2018年 4 月26日 決算日	2019年 4 月26日 決算日	2020年 4 月27日 決算日	2021年 4 月26日 償還時
基準価額 (円)	7, 794	8, 518	9, 664	9, 045	7, 855	11, 816. 35
期間分配金合計（税込み） (円)	―	220	100	170	100	190
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	―	12. 3	14. 6	△4. 5	△12. 2	53. 4
ＭＳＣＩ ＥＭ指数（配当込み、円換算）騰落率 (%)	―	20. 7	17. 0	△0. 7	△19. 0	58. 0
純資産総額 (百万円)	2	2	16	18	35	30

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。
（注３）ＭＳＣＩ ＥＭ指数（配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc. の承諾を得て、ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc. に帰属します。またＭＳＣＩ Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
（注４）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について （2014. 12. 11 ～ 2021. 4. 26）

■新興国株式市況

新興国株式市況は上昇しました。

新興国株式市況は、設定時から、堅調な世界経済を背景に上昇基調で推移しましたが、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ開始を受けた新興国からの資金流出懸念などにより、下落しました。2016年からは、米国を中心とした世界的な好景気を背景に再び上昇しました。しかし2018年以降は、米中貿易摩擦の激化を受けて軟調に推移しました。2020年には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて下落しましたが、その後は感染拡大ペースの減速やワクチン普及、世界経済の回復期待の高まりとともに反発し、上昇基調で推移しました。

■新興国為替相場

新興国為替相場は対円で下落（円高）しました。

設定時から円に対しておおむね横ばいで推移した新興国通貨は、2015年にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ開始を受けた新興国からの資金流出懸念などにより、下落しました。その後は、米国を中心とした世界的な好景気などを背景に反発しましたが、2018年以降は、米中貿易摩擦の激化などを受けて再び軟調となりました。2020年には、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて下落しました。その後は、感染拡大ペースの減速やワクチン普及、世界経済の回復期待の高まりとともにリスク選好姿勢が回復して上昇（円安）したものの、設定以来では下落した水準で償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「エマージング好配当株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■エマージング好配当株マザーファンド

主として、エマージング諸国の企業の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

配当利回りの高い企業を中心に、財務健全性や成長性等を考慮し銘柄選択を行います。個別銘柄

では、株価バリュエーション面で割安であると判断される銘柄や、堅調な業績拡大が見込まれる銘柄などに注目しています。

信託期間中のポートフォリオについて （2014. 12. 11 ～ 2021. 4. 26）

■当ファンド

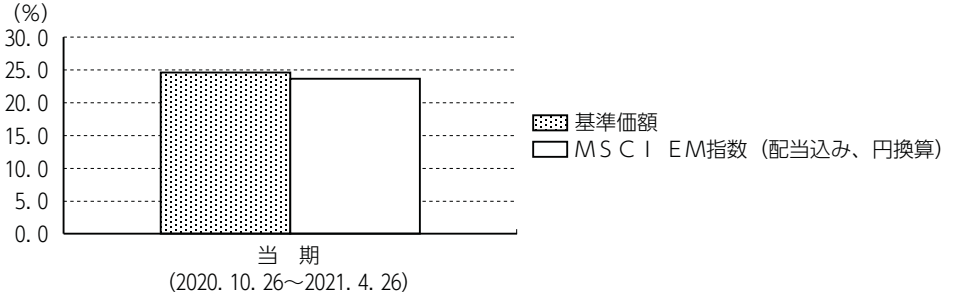
「エマージング好配当株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■エマージング好配当株マザーファンド

配当利回りの高い企業を中心に、財務健全性や成長性等を考慮し銘柄選択を行いました。株式等の組入比率は、おおむね90％程度以上の高位を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

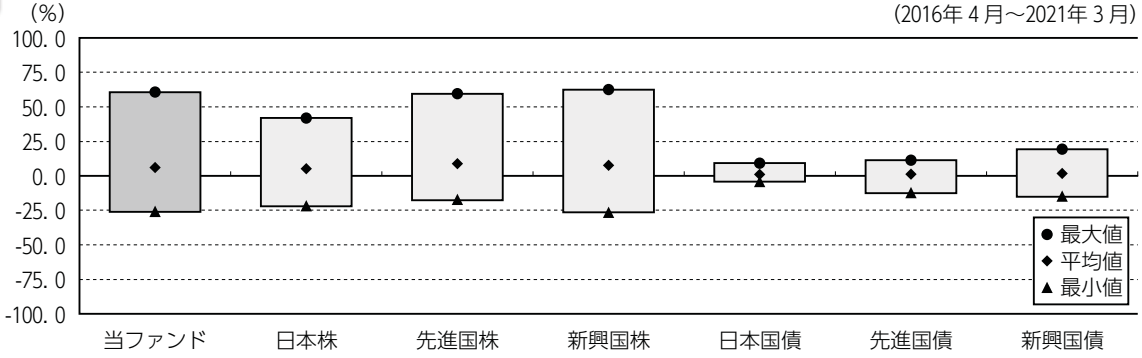
1万口当り、第1期200円、第2期140円、第3期50円、第4期180円、第5期40円、第6期100円、第8期130円、第9期40円、第10期100円、第12期190円の収益分配を行いました。また、第7期および第11期は、基準額の水準等を勘案して、収益の分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年５カ月間（2014年12月11日～2025年４月25日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	エマージング好配当株マザーファンドの受益証券
	エマージング好配当株マザーファンド	イ．エマージング諸国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ．エマージング諸国の企業のＤＲ（預託証券）
マザーファンドの運用方法	①主として、エマージング諸国の企業の株式（ＤＲを含みます。以下同じ。）に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ．エマージング諸国の企業の株式の中から、時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ．投資対象銘柄から、配当利回りの水準や財務健全性、配当の成長性等に着目して組入候補銘柄を決定します。 ハ．組入候補銘柄から、国・地域および業種の分散や株価バリュエーションを考慮し、ポートフォリオを構築します。 ③株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を分配し、売買益等については基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.9	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
平均値	6.1	5.2	8.9	7.7	1.1	1.3	1.9
最小値	△ 26.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.3	△ 4.0	△ 12.3	△ 15.0

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債

先進国債……ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●ＴＯＰＩＸは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩ Inc. に帰属します。またＭＳＣＩ Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、ＦＴＳＥ Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ Fixed Income LLC が有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項　　目	償還時
	2021年４月26日
純資産総額	30,275,210円
受益権総口数	25,621,447口
１万口当り基準価額	11,816円35銭

＊当期中における追加設定元本額は6,920,882円、同解約元本額は18,564,468円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。